

3サンハイツせけんばな紙

第 30 号

令和6年5月1日

編集責任者

田島康弘(3-101)

作成責任者

渡邊芳憲(9-503)

編集委員

小松清明(10-501)



スイバ（酸葉、酸い葉）別名 スカンボ
1号棟の北側の歩道で4月上旬、見つけました。
若葉は食用になりサラダやおひたしなどにしますがシユウ酸を多く含んでいます。高さは30～100cmふつうは60cmくらいで、花期は5～8月です。

嚙むと酸っぱいのでこの名が付いています。ロッパではソレルと呼ばれ、野菜として栽培されており、主にスープの実、サラダ、肉料理の付け合わせなどとして利用されています。

団地内の野草

田島康弘(3-101)

5月行事予定

2日(木) ◎ 鴨池小学校 P T A 総会

9日(木) ◎ 火災予防運動の日 (毎月9日)

11日(土) ◎ 鴨池小学校 土曜授業
◎ 鴨池中学校 土曜授業

◎ カモカル音楽隊慈愛会院内コンサート

時間：12：30～ 場所：今村総合病院1階A棟脳神経内科外来スペース
(終了後移動して、鴨カムサタデーで、青空コンサートを行ないます)

◎ 鴨カムサタデー

・鴨カムお結び

時間：12：00～(提供完了次第終了) 場所：鴨池校区公民館前松林内
料金：18歳以上／300円、18歳未満／200円、未就学児／無料

・スマホ相談会 時間：12：00～13：30 場所：鴨池校区公民館前松林内

・カモカル音楽隊青空コンサート

時間：13：30～ 場所：鴨池校区公民館前松林内
(ここでの演奏の前に、今村総合病院で、院内コンサートを行ないます)

15日(水) ◎ 合同リサイクル活動 (鴨池小学校 P T A・鴨池校区コミュニティ協議会共催)

時間：7：30～8：00 場所：鴨池小学校正門・東門

回収品：キッチン金具・古本・制服・ベルマーク・インクカートリッジ(純正品限定)

16日(木) ◎ 第1回プティエコール 開講式&講座

講座テーマ：「笑顔の力の奇跡を知ろう」

時間：10：00～12：00

場所：鴨池校区公民館(鴨小松林内) 2階

参加費：無料 定員：15名 (5/14までに申込みを)

17日(金) ◎ 鴨池中学校 P T A 総会

◎ 美と健康の講座 第3回「生活に役立つ骨盤底筋」

時間：10：00～11：00 場所：鴨池生協クリニック5階

参加費：無料 申込み：☎080-2739-3578片平さんまで

22日(水) ◎ 鴨かもサロン (体幹トレーニングの簡易版)

参加費：無料 申込み：☎080-2739-3578片平さんまで

参加費：100円 申込み：☎080-2739-3578片平さんまで

31日(金) ◎ 美と健康の講座 第4回「手作りアロマオイルで足のセルフケア」

時間：10：00～11：30 場所：鴨池生協クリニック5階

参加費：無料 申込み：☎080-2739-3578片平さんまで

鹿児島ユナイテッドF C ホームゲーム

6日(月) 14：00～ 相手：ベガルタ仙台

19日(土) 15：00～ 相手：Vファーレン長崎

体幹トレーニング

13日(月) 10：30～11：30

27日(月) 11：00～12：00

場所：鴨池生協クリニック

5階

参加費：500円

申込み：☎080-2739-3578

☎099-260-3532

片平さんまで

スマホ相談会

① 8日(水) 要事前予約(5/1までに)

② 11日(土) 予約不要

① 22日(水) 要事前予約(5/20までに)

① 時間：10：00～12：00

場所：鴨池校区公民館

要予約：その週の月曜日までに

コミュ協(下記)に申込む

② 時間：12：00～13：30

場所：鴨カムサタデー会場内

予約不要

※お問合せ・お申し込み

鴨池校区コミュニティ協議会事務局 (文中「コミュ協」と略記) ☎099-285-1522月・水・金曜日 (祝日休み) 9：00～12：00

団地にまつわるいろいろ話

渡邊芳憲（9・5・0・3）

■満開の桜

今年は、9・10号棟と11・12号棟の間の広場内の築山に植えてある桜が見事に咲きました。この桜は、約10年前の理事会で、「団地内でも花見が出来るように」と植えたものです。しかし、長いこと、まともに花を咲かせることはありませんでした。

そこで、令和2年度の理事会で、肥料が不足しているのではないかということで、4・5本ある桜の周りに肥料であるグリーン・ペイルを打ち込むことにしました。

また、その翌年には、そばにあつた大きく成長した樹木の頭を詰め、張った枝を払いました。この時、植栽業者も「これで、周りの木にも日がよく当たるようになる」と言つていたそうです。

これらの成果が今年の見事な開花になりました。実際にご覧になつた方は十分同意いただけると思いますが、それぞれの枝にびっしり花びらがく当たるようになります。

遅まきながら、3月16日にこの様子を撮影しようとしましたが、前日の雨で大分散つてしましました。しかも葉も出てきており、盛りを過ぎたなと言つ状況でした。

それでも、撮影はしてみましたが、どの方向から見てもバックが白いため、インパクトのある写真は無理でした。

来年からの、春の楽しみが一つ増えたのではと思ひます。

■ご近所づき合い

私自身のことで恐縮ですが、私も去年75歳となり、後期高齢者の仲間入りをしました。

若い頃は、現役で働いていましたし、さほど近所づき合いに关心はありませんでした。

また、「近所づき合いをしたくないから、マンションに入つたんだ」という言葉も、よく聞きました。

実は、2月に行なわれたうちの棟の号棟集会のとき、終わつて会場を出てから、集会参加の方々と、それこそ世間話をしたのですが、その時、最近亡くなられた方のこととか、自分の病気のこととか、いろんなことが出されました。知らなかつたのは私だけだつたのかもしれません、驚きの連続でした。

この時、痛感しました。こんな話が日常的にでてくるようになれば、この団地も、もつとおもしろくなるのではと。

この号棟集会で言えば、来年度の理事の候補（総会で正式決定されますので）も決まつたのですが、実は、「こんな若い方がうちの棟におられたんだ」と驚きました。この方は私とは別階段だつたんですね。しかも、私が「うちの棟は、8号棟と違つて当初から人がそのまま住んでおられる棟だ」といふことを言つたせいで、最近思うのは、「いざというときには、どうなるんだろう」ということです。最近は、自然災害も大規模化しているように感じますし、住民同士で助け合わなければならぬ事態が起ることも、前もつて考えておく必要があるのでと、考えています。

■住宅建替えのこと

今、理事会では、建物の大規模修繕について、専門委員会を作つて検討されている最中です。私は、大規模修繕は、資産価値を維持すること

や、安全に生活していく上で必要なことですか、長期的にみて、この建物をどうしていくのか、具体的に言うと、築後40年を経過している今の建物をあと数十年住み続けるのか、それとも、建替えて、新しい建物に住むようにするのかについて、皆で考えていく必要があるのでと考へています。

考え方として、「自分の年齢もあるし、少々の不便があつても、自分の命が尽きるまで、ここに住み続けて、後のことは、子なり、孫なりが処分してくれれば、それでいいがね」という考え方も、当然あると思います。

私は、ちょっと違つています。

先に書いたように、私も、リタイアしている年金生活者ですし、蓄えもありません。建替えるをするから金を出せと言われてもどうしようもない状態です。

しかし、何も手立てがないかと言わるとそうじやないのではと感じています。

例えば、土地を担保にして、融資を受けるとか、建築戸数を増やして、新規に購入する人の購入金を建築資金に充てるとか、工夫次第で様々な方法が出てくると思つています。

しかも、今の建物は、その資産価値は下がりこそすれ、上がることはありませんが、建替えると、新築ですから、使い勝手もよくなり、資産価値も上がり、売るときには高く売れます。

こんな事を、皆の意見を出し合つて、話を進めて行けたらと考へています。

西郷南州翁の詩の一節に「児孫のために、美田を買わず」という言葉があるそうですが、私は、これは、ちょっと違うと思つています。親

であれば、いくらなりと、子に残したいと思うのは自然なことではないかと思つています。